

【研究課題名】

内転型痙攣性発声障害に対するボツリヌストキシン甲状披裂筋内注入療法および甲状披裂筋切除術の治療成績に関する後方視的検討

【研究機関】

大阪回生病院 耳鼻咽喉科

【研究の目的】

内転型痙攣性発声障害に対するボツリヌストキシン甲状披裂筋内注入療法（BT 療法）および甲状披裂筋切除術（TAM）の治療成績を後方視的に解析し、治療効果および適切な治療選択について検討することを目的とする。

【研究対象】

2018 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに大阪回生病院耳鼻咽喉科において、内転型痙攣性発声障害に対し BT 療法を施行した患者を対象とする。

【研究方法】

診療録から必要な診療情報を収集し、後方視的に解析を行う。本研究のために新たな検査や治療等は実施しない。

【利用する情報】

年齢、性別、診断名、治療歴、BT 療法施行回数・効果、TAM 施行の有無、音声評価、その他研究に必要な診療情報。

【個人情報の保護】

収集した情報は匿名化して管理し、個人を特定できる情報は研究に使用しない。

【研究成果の公表】

研究成果は学会および学術雑誌等で公表する。公表に際して個人が特定されることはない。

【情報利用の拒否】

自身の診療情報の研究利用を希望しない場合は、下記連絡先まで申し出ること。申し出があった場合は、可能な限り研究対象から除外する。ただし、解析・公表済みのデータについては対応できない場合がある。

【研究責任者・問い合わせ先】

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-6-10

大阪回生病院 耳鼻咽喉科 望月 隆一

TEL：06-6393-6234（代表）